

佐渡島志郎大使

誌上展覧会



佐渡島大使。講演会会場の日本人会本館入り口で

2019年7月20日土曜日、日本人会本館にて在タイ日本国特命全権大使でいらっしゃる佐渡島志郎大使による講演会が行われました。講演会当日は本館を入るとすぐに色彩鮮やかで光溢れる空間が広がっています、まずは、大使がウボンラーチャターニー県で歓迎を受けた時に見られた踊りを描かれた作品が私たちを出迎えてくれました。館内には大使がタイで描かれた13枚の絵とバングラデシユ時代に描かれた3枚の絵、合わせて16枚の作品を展示させていただきます、講演をお聞きする前か

ら、普段とは違う本館の中の芸術的な雰囲気は圧倒され、講演会を聞きに来られた皆さんは、席に着く前から、思い思いに素晴らしい作品を鑑賞していらっしゃいました。いよいよ私たちが、待ち望んで、もしかしたら、叶うのでは、という願いをかけて実現することのできた大使のご講演の始まりです。お話が始まると、意外にも大使がタイに来られて初めて日本人会の本館に足を運んでくださったことがわかり、感動。おそらく、これまでの多くのイベン

外交官であり画家の貌を持つアーティスト佐渡島志郎大使の作品を間近に観ながら、お話をうかがう贅沢な講演会が開催されました。展示された作品の一部と大使のお話をあわせて鑑賞いただく誌上展覧会です。

タイを知る会主催講演会開催報告

室賀さゆり

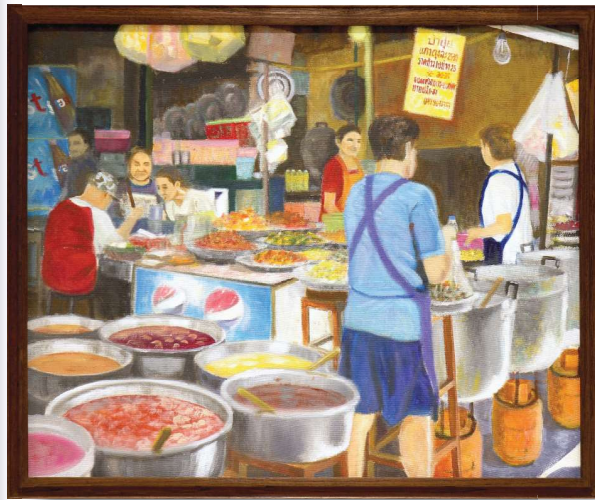
佐渡島大使とタイの繋がり

絵画を通じて

感じたタイ社会



室賀さゆり氏



クロントイ市場3部作

クロントイ市場に出かけた際に撮ってきた写真をもとに、自分の好きなように構図や色を変えて描いています。皆さんご承知のようにタイの市場というのは規模がでかい。バンコク市内には大規模な市場がたくさんありますが、クロントイは生鮮食品市場としてはおそらく最大規模。広さはおおよそ600m×300m、1000を超える店舗がひしめき、虫も売ってるカエルも売ってる。クロントイのど真ん中に立つとはしっこがみえないほどです。私は人を描くのが好きなので市場というのは格好の材料探しの場になります。タイの人には危ないから行くなと言われるんですが、私にとってはあまりにも面白くてしょっちゅう行っております。



困気が漂って、この絵にり上げた商人のを商う個人商の華人たちは現身地の方言を話国語がうまくな後のタイの政策

トに関わってこられた時は、全て外部の会場で、本館に足を運ばれるチャンスは巡ってこられなかったようで、この日が記念すべき大使の日本人会への一歩になりました。

まずは、大使が絵をお描きになられるようになったきっかけを。もともと、芸術の才の高い家系でいらつしやったようで、それが開花されたのが、バングラデシュ在勤時代。バングラデシュはラビンドラナート・タゴールを輩出したような芸術性旺盛な国ですから、人々はお金がなくとも心は豊か。工場の交代の時間に一斉に出てくる女性の服の様々な色彩や柄に目を奪われ、描いてみたいと思われたという今でも手元にお持ちの習作1号で説明をされました。速乾性の高いアクリル絵の具で描かれたというその作品は、初めてとは思えない力強さに溢れ、大使の表現したいと思う気持ちが映し出されています。そのほか、当日搬入していただいたバングラデシュ時代の作品を習作第1号を入れて3作品をご紹介します。いただきました。

タイに赴任されたのは2015年4月。お忙しい毎日。趣味もたくさんお持ちの大使でいろ



色鮮やかな バングラデシュの 人たち

シャッキラ村というバングラデシュの西の果て（インドとの国境）に行った時のこと。村人が別際に水辺を歩いて手を振ってくれました。この国を離れたらこういう思いがでさうだろうなと思いがら描いた絵です。

んな誘惑も多くバングラデシュ時代ほどは絵に集中できないのですが、タイでは市場を巡り、いろんな様子を見たり、写真に納められたりするのがお好きだそうです。勿論、市場の店舗数、売り上げ、そこで働く人々についての様々な情報、王室プロジェクトや様々な政策など



水上マーケットのバンワーのおじいさん

バンワー方面の水路で撮った写真を基に描いた絵。タイと言えば水路、運河です。私が最初にタイに足を踏み入れたのは1979年。そのころはまだ縦横無尽に水路が走っておりました。集団コメ作り民族である日本・ベトナム・タイにはこういう水路が発達している。江戸・大阪も水上マーケットがありました。タイの場合は最近までそれが残っていて、水路の数は19世紀には1200本、最近では1100本ぐらまで減少しています。運河の長さは合わせて1200kmですが、通勤で使われているのは70km弱だそうです。大使公邸のすぐ裏にセンセーブ運河があり、伊勢丹に行く時などはそこで舟に乗ります。渋滞がない上、11B。これを使わない手はない。

利用されることもあるという大使のお言葉には、会場の皆さんも驚きました。「水上マーケットのバンワーのおじいさん」の絵には対になる絵もあるということ、その作品も完成させていた。是非並べて見せていただきたいと思うような、かつてはかなり頻繁にボートが行き来していた活気に溢れていたであろう水上マーケットの風景がそこには広がっていました。

さて、入り口で迎えてくれた「歓迎の踊り」で紹介していたスリン県やウボンラーチャターニー県は



焼きバナナ売りのおばあさん

ヤワラートで焼きバナナ一筋何十年という誇るおばあさんを見かけて、たまたま写真を撮りました。ヤワラートは中国系の住民が作町です。一つ裏の通りに入ると実に様々なものがひしめき合っています。東南アジアの他国地の言葉はもちろん、標準中国語、祖先の出せる人が多いですが、タイの華僑は概して中く、漢字が読めない人が多い。これは戦中戦によるものです。

数字的なものはきつちりと抑えておられながら、人々の表情やそこに息づく人間の営みにも興味を持って、画材になりそうなものの情報收拾もされる。「クロントイ3部作」「焼きバナナ売りのおばあさん」の作品など、売手やそこにいる人々の息遣いが聞こえてくるようです。大使が描かれる絵は、写真を撮ら

れた後で写真を見ながら、イメージを作り上げて組み合わせられたものも多いそうです。

さらにスラム地区と難民の問題についてお話いただきながら、かつては多かった水上生活者も今は、観光用に商売を行なっているだけのものがほとんどであるということも教えていただきました。センセーブ運河を

ラーマ9世の肖像

2016年10月にラーマ9世がお亡くなりになって、その翌月に敬意をこめて描きました。ホアヒンで大学の生徒さんたちにお話しされている時の写真を見て描いています。王室フォトコレクションの中で前国王陛下のお人柄が一番あらわれている写真を選んで描きました。普段は公邸に飾っています。



歓迎の踊り

ウボンラーチャターニー県の伝統絹織物師の絹工房に行った時に踊りの歓迎を受け、その時の写真を組み合わせて描きました。タイ政府が2015年にDiscover Thaiのキャンペーンを始めた時に、織物の伝統が色濃く残る29の県を七つのルートに分けて指定。東北のルートにあたるのがこのウボンラーチャターニー県。200年前の絹織物を集めて復刻する活動が続けられています。

芸七巨匠のお名前もご紹介いただきました。伝統に関連して、外国人見学用に人形劇を行っている小屋でパフォーマンスを見たときのお話をいただき「操り人形劇」の作品をご紹介いただきながら、タイの人形の動かし方は、人形と人の動きがシンクロしていて黒子が黒子に徹しきれていない。一緒に見せる、というのが日本人と違って、タイ人らしい、というお話をしてくださいました。

大使がタイで描かれた13枚の絵を見せていただきながら、いろんなタイのお話を伺った時間は本当にあっという間で、ご講演後にも、参加者の皆様からの質問にも丁寧にお答えいただいた、1時間半が瞬く間に過ぎま



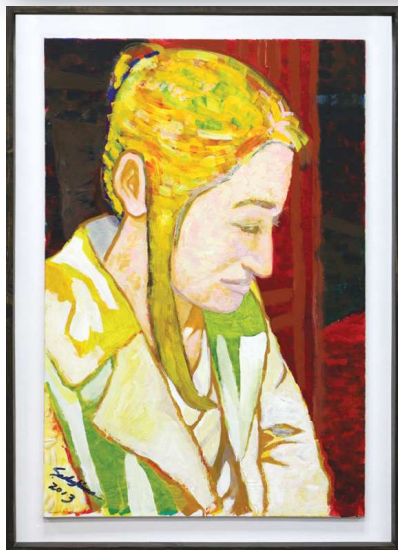
織物の盛んな地域で、タイには今、七つの絹織物のルートがあるという事です。ルートの場所を詳細にお聞きした後、ご活躍中のタイ伝統工

タイの 伝統 操り人形劇

バンワの水路の横に小さなシアターがあります。平日には本業がある芸人さんたちが、週末だけ観光客向けに一部をかいつまんでパフォーマンスしてくれて、短時間でいろんなのが楽しめます。タイの人形浄瑠璃や影絵は特徴があり、人形の動きと操る人の動きがシンクロしているんです。黒子が黒子に徹し切れていない。タイ人気質が見えて非常に面白いですね。日本人にはない発想です。



※今回の講演会は、タイを知る会主催ということで開催させていただきました。飯田様はじめ大使館の皆様、島田会長はじめ日本人会の理事の皆様、パースネルコンサルタント小田原様、阿部恭子様、熊本事務局長はじめ日本人会事務局の方々、山川様はじめタイを知る会の協力会員の皆様、本当にありがとうございます。深く感謝申し上げます(室賀)。



習作

事実上の第一号。本をざっと読んで、絵の具の盛り上がり方や色の見せ方など勉強しながらこれを最初に描きました。モデルはファッションデザイナーの山本寛斎さんのところの舞台監督をやっていた方。実はご本人は自分がこういう風に絵に描かれているのには存じありません。帰国したらお渡ししようと思っています。この後、習作をする時は独身の女性しか描いておりません。

した。お話を伺った後に再び、ゆっくりと絵を鑑賞させていただくとお話の中で、大使がタイについて感じていらつしやる様々な人々の生き様が、絵に込められているようで、最初に目にした時とは違った表情に見え、タイ生活が更に彩りある楽しいものに見えてくるようでした。